＊令和３年度以前入学生用

学校番号	１０９

令和５年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校生の美術３」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科としての美術だけではなく、卒業後における、生涯学習としての「美術」、もっと社会や生活、人生と深い繋がりのあるものとしての「表現」や「鑑賞」を意識して欲しいです。
・視覚、触覚、感じ取ったことから思考する「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感覚的・技術や機能から考える「映像メディア表現」「鑑賞」の分野について学習します。
・生徒同士が作品を相互に鑑賞（批評）することで、様々な違った視点や考え方を確認することが出来き、理解の幅がさらに広がります。

２　学習の到達目標

美術Ⅲでは表現や、知識の多様性を追求することで、自己のイメージに近づけられるよう学びながら制作してゆく。
作品の制作過程のなかで周りから受ける刺激や意見を意識的に感じられるようにする。それらを言語化、文字化し周りに伝えられるように努める。
現代社会の中での様々な美術文化（表現）に対する理解と関心を引き出してゆく。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	①現代社会、日々の生活の延長として美術を捉える。または自分を見つめる。 ②創造活動を行い、製作過程で達成感や喜びを味わうことでより美術としての文化、鑑賞の関心に繋がる。	①独創性、想像力を働かせ、感じ思考することの必要性。作業のみに留まらず、作業と思考を合わせる事で、「表現」をさせる。 ②発想に多様性を持たせる。	①創造性のある作品表現をするために必要な、技術、知識を身につけ、教材に応じて表現方法を拡げる工夫をしている。 ②作品完成における達成感を得る。	①映像表現や美術作品、またはそれらの作家性や時代背景、文化を感じることで理解する。 ②自分とは違った意見や感想を知る事で理解の幅を持たせる。
評価方法	制作の様子、取り組み方。 鑑賞における、意見や感想。 発言内容	アイデアスケッチ（エスキース） 制作過程の作品 制作時の発言内容 ワークシート	作品制作過程での技術、技能 完成、展示された作品	ワークシート 感想、発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

＊令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	表現と選択Ⅲ	【鑑賞】【デザイン】【絵画、彫刻】・オリエンテーション 最終学年の、美術「表現」について	◎	○	○		a:現代活躍されている作家の様々な表現を知る b:美術の歴史と文化について自分との関連性を考える。 C:生涯学習としての美術	学習活動の様子
	平面構成Ⅰ	【絵画】【造形】 ・1枚の紙から①	○	○	○	○	a:紙の表現の可能性を考える b:テーマを設定し具体的に作品にすることで素材の理解を深める。 ｃ:アイデアを考え抜く ｄ:相互鑑賞	制作の様子 制作課程 完成作品
	平面構成Ⅱ	【絵画】【造形】 ・1枚の紙から②	○	◎	○	○	a:前回の課題から発展させる b:作品の主題を考える。 c:コラージュ上のイメージの多重化。イメージのうえのイメージの理解を深める。 ｄ:相互鑑賞	制作の様子 制作課程 主題と完成作品
2学期	絵画	【絵画】【デザイン】 ・セルフポートレート	○	○	◎	○	a:自画像について考える。（似顔絵との違い意味について） b:自画像の意味を考えエスキース（構図）を考える。 c:表現方法を考える d:相互鑑賞	制作の様子 エスキース 制作課程 完成作品
	工芸	【造形】【陶芸】 ・土（粘土）に触れることで原始的な直接触覚に向き合う作品表現	○	○	○	◎	a:触覚への意識（土遊びの感覚を思い出す） b:ユニバーサルデザインから食器の可能性を考える。 c:造形の美しさを探る d:制作したものを実際使用してみる。	制作の様子態度 制作過程の理解 完成作品
	グル	【絵画】【彫刻】【デザイン】	○				a:表現についてもういちど考え	制作の様子

＊令和３年度以前入学生用

３学期		【映像メディア表現】【鑑賞】 ・ファッション		○	○	○	る。 b:グループで作品を制作するにあたって、意見の集約や発想やアイデアの共有 C:計画的かつ創造性のある作品を協力して目指す。 d:テーマや見せ方についてはそれぞれ話し合い、各グループの作品を相互評価する。	アイデアスケッチ 制作課程 完成作品 作品披露ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想・思考・表現・構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞による知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。